

＜視点1＞【子供たちが安全・安心に学べる学校】					
アンケート結果			自己評価	成果と課題及び分析	改善策・最終評価での目標数値
生徒	学校は楽しい。	91%	➡ a	4	<p>○「学校は楽しい」と感じる生徒、子どもが「楽しそうに学校に行っている」という保護者の割合が高い。 △「自分にはよいところがある」と考える生徒の割合が減少している。 →認められる場、活躍できる場が不足しているのではないか。「主体的に」という点が不足しているのではないか。(R3より継続)</p> <p>△「きまりを守って、生活している」と答える生徒が減少した。→今守るべききまりに優先順位をつけ、1つずつ徹底させる必要があるのではないか。</p> <p>○生徒の95%は「みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある」と答えており、成功体験を経験した生徒が多い。また保護者も、先生が子ども達をよく理解しようとしていると思っている。</p> <p>○保護者の93%は「学校は、生徒の安全を守るために努力している。」と思っている。また、強肯定も+21%である。 ○職員の8割が、危機管理マニュアルを確認して行動している。</p>
保護者	お父さんは、「楽しそうに学校に行っている」と思いますか。	95%	➡ a	4	
生徒	困っている友だちがいたら、助けてあげようとしている。	93%	➡ a	4	
生徒	自分にはよいところがある。	70%	➡ c	2	
保護者	学校は、親切・思いやりの心を育てようとしていると思いますか。	96%	➡ a	4	
生徒	学校のきまりを守って、生活している。	86%	➡ b	3	
教員	生徒が学校のきまりを守り、安全に生活できるよう指導している。	100%	➡ a	4	
生徒	みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある。	95%	➡ a	4	
保護者	学校は、いじめのない学校づくりに積極的に取り組んでいると思いますか。	95%	➡ a	4	
保護者	先生は、子ども達のことをよく理解しようとしていると思いますか。	98%	➡ a	4	
教員	生徒同士のよりよい人間関係づくり(いじめ・不登校の未然防止)に努めている。	100%	➡ a	4	
教員	生徒の小さな変化に気づいたときは、すぐ行動している。	100%	➡ a	4	
保護者	学校は、生徒の安全を守るために努力していると思いますか。	93%	➡ a	4	
教員	定期的に危機管理マニュアルを確認して行動している。	82%	➡ b	3	

3.7

**【課題①】生徒主体の活動【久田・全職員】**  
 <改善策>  
 ○生徒中心の活動・相互評価場面  
 ○話し合うことよさ・大切さ

**【課題②】学校のきまり【田中・玉置】**  
 <改善策>  
 ○生徒による生活目標の設定および遵守

＜視点2＞【生徒の確かな学びを保障する学校】					
アンケート結果			自己評価	成果と課題及び分析	改善策・最終評価での目標数値
生徒	授業の内容はよくわかる。	84%	➡ b	3	<p>○生徒「授業の内容はよくわかる」と回答した生徒の割合が+5%となった。特にC層が減少した。 ○保護者「(我が子が)授業の内容がよくわかると感じている」と回答した保護者の割合が+9%となった。特にA層が増加。 △教員「補充的・発展的な個別指導を行っている」割合は-26%と大幅に減少した。特にA(強肯定)が0%であった。 →(分析)教員の考える「補充的・発展的な個別指導」のあり方の具体が明確ではないのではないか。また「いつ・どこで・誰が、行うのか」という対応の差が現れているのではないか。</p> <p>○「五定点を守って生活している」と答えた生徒や、「お父さんは、早寝・早起きをしていますか」に対する保護者の肯定的回答の割合が改善した。 △家庭学習に関する肯定的回答の割合が、生徒・保護者・教員共に50%以下と低い数値になっている。→家庭学習の充実に向けた指導はしているのか。家庭学習を充実させる手立てを講じていく必要がある。</p> <p>○96%の保護者は「学校は、『学び合い・認め合い・高め合い』によってお子さんの力を伸ばそうとしている」と感じている。 △生徒が1日にインターネットを使用する時間が長くなっている。 →家庭学習を行う時間とインターネットを使用する時間には密接な関係があると。自律的な家庭生活の改善に向けた指導が必要ではないか。</p>
生徒	失敗してもあきらめずに、粘り強く取り組もうとしている。	82%	➡ b	3	
保護者	お父さんは、授業(勉強)の内容がよくわかると感じていますか。	77%	➡ c	2	
教員	個々の習熟の状況に応じて、補充的・発展的な指導を行っている。	63%	➡ d	1	
教員	分かりやすい授業となるよう、ICT機器(モニター・タブレット等)を効果的な活用にも努めている。	89%	➡ b	3	
生徒	授業では、学び合い(対話)によって、自分の考えが深まっている。	88%	➡ b	3	
教員	言語活動を重視し、生徒に説明・記述させる授業への改善をすすめている。	71%	➡ c	2	
生徒	毎日、家庭学習の目標時間を守って取り組んでいる。(1年60分、2年70分、3年80分)	49%	➡ d	1	
保護者	お父さんが家庭学習に取り組む姿勢は、十分だと感じていますか。	49%	➡ d	1	
教員	普段の家庭学習の量や質が改善するように指導している。	33%	➡ d	1	
生徒	五定点を守って生活している。(起床・朝食・夕食・就寝の時刻)	67%	➡ d	1	
保護者	お父さんは、早寝・早起きをしていますか。	61%	➡ d	1	
教員	五定点を守った生活となるよう指導している。(起床・朝食・夕食・就寝の時刻)	78%	➡ c	2	
生徒	家で、インターネットは1日にどれくらい使っていますか。(A:30分未満 B:30分～1時間未満 C:1時間～2時間未満 D:2時間以上)	26%	➡ d	1	
保護者	お子さんと、インターネットの使用についてのルールを決めていますか。	70%	➡ c	2	
教員	ネット利用のきまりの必要性や守ることの大切さを指導している。	78%	➡ c	2	
生徒	学校では、生徒同士でお互いのがんばりを認め合う場面がある。	81%	➡ b	3	
生徒	先生はがんばったことをほめたり、認めたりしてくれる。	84%	➡ b	3	
保護者	学校は、「学び合い・認め合い・高め合い」によってお子さんの力を伸ばそうとしていますか。	96%	➡ a	4	

2.1

**【課題③】学力向上【森岡】**  
 <改善策>  
 ○補充的・発展的指導

**【課題④】家庭生活の見直し【田中・滝井】**  
 <改善策>  
 ○家庭学習の取組の改善  
 ○ネットとの上手なつき合い方 等

＜視点3＞【職員が協働し高めあい確かな指導力を育成する学校】

アンケート結果				自己評価	成果と課題及び分析	改善策・最終評価での目標数値
教員	本校の教育目標を具現化して、教育活動に取り組んでいる。	100%	➡	a	4	【目標数値:職員「PDCAサイクルを回した業務となるように努めている。」100%】 ・若プロで、PDCAサイクルを回した業務とは、業務の効率化のすすめ方を学ぶ機会を設定し、PDCAサイクルを回した業務への改善をすすめる。 ・業務の抱え込みとならないよう、校務分掌を適宜見直して、業務の平準化・効率化をすすめる。
教員	PDCAサイクルを回した業務となるように努めている。	64%	⬇	d	1	
教員	自らの職責を果たすために、教師としての力量が高まるよう努めている。	90%	⬆	a	4	
教員	業務の効率化をすすめ、午後7時30分までに退校している。	60%	⬇	d	1	

2.5

＜視点4＞【地域社会の一員として信頼される学校】

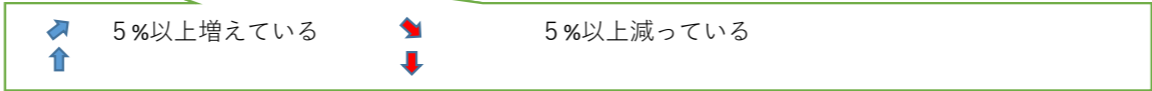
アンケート結果				自己評価	成果と課題及び分析	改善策・最終評価での目標数値
生徒	地域の人に、自分からすすんであいさつをしている。	93%	➡	a	4	【目標数値:生徒との「地域の人・もの・ことから、いろいろなことを学んでいる。」80%】 ・2・3学期の教育計画の中で、まちの先生の活用場面を洗い出し、各学年・各学期1回以上まちの先生を活用した学習活動を行う。  ○保護者は、「地域と連携した体験活動」に取り組んでいると感じている。 △生徒は「地域の人・もの・ことからいろいろなことを学んでいる」実感が乏しく。教員もまちの先生を積極的に活用できていない。 →教員はまちの先生を積極的に活用していく必要がある。  ○保護者は、「学校と保護者との連絡は密にしている」「学校からの情報発信は十分である」と感じている。
保護者	お子さんは、すすんで挨拶ができていますか。	88%	➡	b	2	
生徒	地域の人・もの・ことから、いろいろなことを学んでいる。	65%	⬇	d	1	
	地域の行事には進んで参加している。	53%	⬇	d	1	
保護者	お子さんは、地域のよさや大切さを感じていますか。	88%	➡	b	2	
	学校は、地域と連携した体験活動にすすんで取り組んでいると思いますか。	100%	⬆	a	4	
教員	まちの先生を積極的に活用している。	55%	⬇	d	1	
保護者	学校は、保護者との連絡を密にしていると思いますか。	93%	➡	a	4	
	学校からの各種便りやホームページでの情報発信は、十分ですか。	98%	➡	a	4	
教員	地域・保護者へ、積極的に情報発信を行っている。	82%	⬇	b	3	

2.6

【課題⑤】業務改善【山野】  
 <改善策>  
 ○PDCAサイクルを回した業務  
 ○平準化・効率化に向けた対応

【課題⑥】地域体験活動【久田・各学年団】  
 <改善策>  
 ○計画の見直し・実践  
 ○まちの先生の活用(学期に1回)

- 《アンケート集計から自己評価までの流れ》
- アンケート結果から、それぞれの項目をa～dの4段階に評価する  
 「そう思う」+「だいたいそう思う」が90%以上 ⇒ a  
 「そう思う」+「だいたいそう思う」が80%以上 ⇒ b  
 「そう思う」+「だいたいそう思う」が70%以上 ⇒ c  
 「そう思う」+「だいたいそう思う」が70%未満 ⇒ d
  - ①の4段階の評価を、a=4 b=3 c=2 d=1とし、平均を求める
  - 以下の基準で平均値から自己評価を行う



【保護者から】

- ・コロナなどの対応、中学校は適切で早い対応だで良いと思いました。(2年)
- ・短所は見方を変えれば長所でもあるので、一人一人のいいところを声を出して褒めてあげてください。もうされているかもしれませんが、先生に褒められるとうれしいものですし、認めてもらえたと思えると自信が持てると思います。(2年)
- ・毎回同様なアンケートに答えています。アンケートの結果、どんな改善があったかなどが分かれば良いと思います。(3年)
- ・学校だよりの写真をカラーにできないでしょうか。写真をとても楽しみにしています。4月に桜の下で撮った写真がカラーなら、記念になったのにと今でも思っています。(3年)
- ・このアンケートに、「分からない」という回答欄も付加してほしいです。(3年)